

# 平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

## 全体の概要

|    |     |     |    |
|----|-----|-----|----|
| 墨江 | 小学校 | 児童数 | 88 |
|----|-----|-----|----|

## 平均値

|     | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m<br>シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール<br>投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子  | 16.68 | 19.74 | 34.31 | 40.67 | 53.42         | 9.25 | 148.30 | 25.16        | 54.90 |
| 大阪市 | 16.49 | 19.23 | 32.34 | 39.54 | 49.98         | 9.37 | 149.36 | 22.61        | 52.79 |
| 全国  | 16.51 | 19.92 | 33.15 | 41.95 | 52.24         | 9.37 | 151.71 | 22.53        | 54.16 |
| 女子  | 15.77 | 19.57 | 39.17 | 41.02 | 42.93         | 9.46 | 136.09 | 13.14        | 55.86 |
| 大阪市 | 16.18 | 18.20 | 37.06 | 37.88 | 39.64         | 9.60 | 143.32 | 14.07        | 54.58 |
| 全国  | 16.12 | 18.81 | 37.43 | 40.06 | 41.62         | 9.60 | 145.47 | 13.94        | 55.72 |

## 結果の概要

○体力合計点をみると、男子・女子ともに全国・大阪市平均をわずかに上回った。ここ数年の中では、初めての結果である。種目別にみると、男子は8種目中5種目(握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げ)、女子も8種目中5種目(上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走)で全国・大阪市平均を上回った。

○男女ともに全国・大阪市平均を下回ったのは「立ち幅とび」であり、特に女子の結果が大阪市とは約7cm、全国とは約9cmの開きが見られた。しかし、いずれも昨年度(男子で約10cm、女子で約20cm)に比べると、かなりその差は縮まった。

○運動・スポーツに対する意識としては、男女共に「運動・スポーツが好き」「体力・運動能力に自信がある」とする回答の割合が高い。

○体育の授業に対しても、男女共に「体育の授業は楽しい」とする回答の割合が高い。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

○全国・大阪市平均を上回る種目が、昨年度(男子4種目、女子1種目)よりも増え、体力合計点でもわずかではあるが全国・大阪市平均を上回った。例年、「50m走」が全国・大阪市平均を上回る結果が出ていることから基本的な運動能力は持っている。今年度は、子どもたちが各種目に慣れたこと、指導者の指導技術を高めたこと、などがこの結果につながったと考えられる。

○「体育の授業は楽しい」という意識は高いが、毎時間の授業の始めに「目標が示されていない」とする回答が約25%と全国・大阪市平均よりやや高くなっている。また、「授業の振り返りを行っていない」とする回答の割合も全国・大阪市平均を大きく上回った。このことから、日々の「授業のめあてをはっきりと示す」こと、「授業の最後に振り返る」活動を取り入れることを重点目標として、「楽しい体育の授業」をさらに追究していく。

○男女共に体育の授業で「できるようになったきっかけ」として「友だちに教えてもらった」とする回答の割合が高くなっている。また、「友だちと助け合ったりする活動を行っている」とする回答も高いことから、友だちとの関係づくり(集団づくり)も大切にしていく必要がある。